

令和5年3月17日

令和7年度（令和6年度実施）奈良教育大学教育学部入学者選抜について
（予告：補遺その2）

奈良教育大学

奈良教育大学（以下、「本学」という。）では、令和7年度（令和6年度実施）本学教育学部入学者選抜について、下記のとおり予告内容の追加がありましたので、お知らせします。

本予告内容は現時点のものであり、今後の検討状況により変更になる場合もあります。

そのため、新たに予告する内容が出てきた場合やお知らせした内容から一部変更が必要な場合には、追ってお知らせします。

従いまして、本学ホームページ（「令和5年1月4日付けの予告」及び「令和5年2月2日付けの予告：補遺その1」を含む。）、令和6年度に公表する「令和7年度入学者選抜要項」及び「令和7年度学生募集要項（入試区分毎で公表）」の内容についても必ずご確認くださいいただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 多様な背景等を持った受験者の受入れについて

（要点）

・高等専門学校、短期大学及び他大学の学生といった多様な背景等を持った、教員を目指す意欲等をもつ者の受入れを推進する取組みの一つとして、以下の入試区分毎に入学者選抜を実施します。

（編入学試験等を実施する専修等）

- 編入学試験（2年次編入）：理科教育専修（中等教育履修分野）、
保健体育専修（初等教育履修分野、中等教育履修分野）、
技術教育専修（中等教育履修分野）
- 転入学試験（2年次転入）：保健体育専修（初等教育履修分野、中等教育履修分野）、
技術教育専修（中等教育履修分野）

・令和7年度教育学部編入学試験等の概要については、以下のとおりです。

[\[別紙1（令和7年度編入学試験）をご確認ください。\]](#)

[\[別紙2（令和7年度転入学試験）をご確認ください。\]](#)

・なお、令和7年度入学者選抜から教育学部帰国生徒特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜の募集については、停止しますので併せてお知らせします。

2. 総合的な英語力の評価について

(要点)

- ・本学教育学部の入学者選抜における総合的な英語力の評価については、英語教育専修（中等教育履修分野）の総合型選抜（第一次選考（専修））及び同専修の一般選抜（前期日程・後期日程）において、以下の取組みを行います。

【英語教育専修（中等教育履修分野）】

- ・ 総合型選抜（第一次選考（専修））

教育に関する講義を行い、英語のレポートを課す。また、英語でプレゼンテーションを行わせる。さらに、プレゼンテーションに基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い、英語教育にかかる理解や関心のほか、英語を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教員への適性と意欲を確認する。使用言語は原則的に英語とする。試験での辞書等の使用は認めない。

- ・ 一般選抜（前期日程及び後期日程）

英文を正確に書かせる和文英訳問題、英語で自身の意見や考えを述べさせる課題を出題し、総合的な英語力を適切に評価する。

- * これらの問題においてはスピーキング能力を直接測るわけではないが、英作文能力はスピーキング及びリスニング能力との相関性が高いことから、英作文能力の評価を通してこれまでの教育で培った総合的な英語力が評価できる。

3. その他

(要点)

- ・一般選抜における面接の内容・評価の観点（令和5年2月2日付けの予告：補遺その1で公表済の別紙5）のうち、技術教育専修に係る面接の内容・評価の観点を以下のとおり一部変更します（「ただし、志願者数により、集団面接となる場合があります。」を追記）。

なお、その他の専修に係る面接の内容・評価の観点については令和5年2月2日付けの予告：補遺その1で公表済の別紙5のとおりです。

（変更後：下線は変更（追記）箇所を示します。）

別紙5

面接の内容・評価の観点

面接の中で「思考力・判断力・表現力等の能力」を適切に評価するために、記述式問題を課します。

専攻・専修	区分	内容・評価の観点
教科教育専攻	技術教育専修	前期日程 後期日程
		個人面接の形式で、本学を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い（記述による問いを含む）、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。 <u>ただし、志願者数により、集団面接となる場合があります。</u>

(変更前：令和5年2月2日付け公表済の予告：補遺その1における別紙5（面接の内容・評価の観点（技術教育専修分））から一部抜粋）

別紙5

面接の内容・評価の観点

面接の中で「思考力・判断力・表現力等の能力」を適切に評価するために、記述式問題を課します。

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
教科教育専攻	技術教育専修	前期日程 後期日程	個人面接の形式で、本学を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い（記述による問いを含む）、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。

以上

(本件問合せ先)

奈良教育大学入試課

TEL:0742-27-9126

FAX:0742-27-9145

Mail: nyuusi@nara-edu.ac.jp

令和 7 年度編入学試験

1. 募集する専修・履修分野等

専攻	専修・履修分野		募集人員	編入年次
教科教育専攻	理科教育専修	中等教育履修分野	1 名	2 年次編入
	保健体育専修	初等教育履修分野	若干名	
		中等教育履修分野		
	技術教育専修	中等教育履修分野	若干名	

2. 出 願 要 件

短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び令和 7 年 3 月卒業見込みの者

3. 選抜方法、配点、合格基準点等

(1) 選抜方法、配点、合格基準点

入学者の選抜は、筆記試験（専門科目、小論文）、実技試験及び面接等の結果を総合して行います。なお、各専修における試験科目等、配点及び合格基準点は下表のとおりとします。

専攻・専修名	試験科目等	配点 ※カッコ内は内訳	合格基準点
教科教育専攻・理科教育専修 (中等教育履修分野)	専門科目（物理・化学・生物・地学から 1 科目を出願時に選択）、面接	400 点（専門科目 200 点、面接 200 点）	総点の 6 割（240 点）
教科教育専攻・保健体育専修 (初等教育履修分野) (中等教育履修分野)	実技試験、小論文、面接	100 点（実技試験 30 点、小論文 30 点、面接 40 点）	総点の 7 割（70 点）
教科教育専攻・技術教育専修 (中等教育履修分野)	小論文、面接	400 点（小論文 200 点、面接 200 点）	小論文、面接の各得点について、配点の 6 割（小論文 120 点、面接 120 点）

(2) 試験内容・評価の観点

○教科教育専攻

【理科教育専修】

〔専門科目〕

物理、化学、生物、地学のうち 1 科目を選択し、高校及び大学初年度程度の内容に関する問題を解答させます。

物理では、力学、熱力学、電磁気学、波動などについて、基本的な知識や具体例などを問います。

化学では、化学結合、酸・塩基、化学熱力学、化学平衡、反応速度などの中から選択問題を出题し、その定義と反応例について説明を求めます。

生物では、細胞、代謝、遺伝、生殖、生態、進化などの中から、基本的な知識や具体例などを問います。

地学では、地球の内部と地表面の変動、大気と水の循環及び宇宙の現象に関する基本的な内

容について、論述形式で出題します。

〔面接〕

編入を希望する動機や教職への意欲と、これまでに学んできたこととの関連、また「専門科目」の筆記試験の内容やそれに関わる知識について問います。さらに、自然科学における基本的な法則や単位など、自然についての見方・考え方等についても問う場合があります。それらにもとづいて教員としての資質を総合的に評価します。

【保健体育専修】

〔実技試験〕

ボール運動、器械運動（鉄棒運動及びマット運動）を実施し、基本的な運動能力を評価します。

〔小論文〕

学校体育、健康教育、生涯スポーツ等に関する問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力を総合的に評価します。

〔面接〕

本学を志望した動機、編入学後の学習計画、体育及び保健に関する知識、教職への意欲について問い、教員としての資質、学習意欲等を総合的に評価します。

【技術教育専修】

〔小論文〕

技術、ものづくりに関する考え方、発想などを問う問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力などを総合的に評価します。

〔面接〕

本専修を志望した動機や教職への意欲、教科内容に関する知識などについて問い、意欲・関心・知識・表現力などを総合的に評価します。

令和 7 年度転入学試験

1. 募集する専修・履修分野等

専攻	専修・履修分野		募集人員	転入年次
教科教育専攻	保健体育専修	初等教育履修分野	若干名	2 年次転入
		中等教育履修分野		
	技術教育専修	中等教育履修分野	若干名	

2. 出 願 要 件

- (1) 他の大学（修業年限 4 年以上の大学）に 2 年以上在学し、かつ 62 単位以上を修得した者
 (2) 令和 7 年 3 月の時点において、他の大学（修業年限 4 年以上の大学）に 2 年以上在学する見込み、かつ 62 単位以上を修得見込みの者

3. 選抜方法、配点、合格基準点等

(1) 選抜方法、配点、合格基準点

入学者の選抜は、筆記試験（専門科目、小論文）、実技試験及び面接等の結果を総合して行います。なお、各専修における試験科目等、配点及び合格基準点は下表のとおりとします。

専攻・専修名	試験科目等	配点 ※カッコ内は内訳	合格基準点
教科教育専攻・保健体育専修 (初等教育履修分野) (中等教育履修分野)	実技試験、 小論文、面接	100 点（実技試験 30 点、小論文 30 点、面 接 40 点）	総点の 7 割（70 点）
教科教育専攻・技術教育専修 (中等教育履修分野)	小論文、面接	400 点（小論文 200 点、面接 200 点）	小論文、面接の各得点につ いて、配点の 6 割（小論文 120 点、面接 120 点）

(2) 試験内容・評価の観点

○教科教育専攻

【保健体育専修】

〔実技試験〕

ボール運動、器械運動（鉄棒運動及びマット運動）を実施し、基本的な運動能力を評価します。

〔小論文〕

学校体育、健康教育、生涯スポーツ等に関する問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力を総合的に評価します。

〔面接〕

本学を志望した動機、転入学後の学習計画、体育及び保健に関する知識、教職への意欲について問い、教員としての資質、学習意欲等を総合的に評価します。

【技術教育専修】

〔小論文〕

技術、ものづくりに関する考え方、発想などを問う問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力などを総合的に評価します。

〔面接〕

本専修を志望した動機や教職への意欲、教科内容に関する知識などについて問い、意欲・関心・知識・表現力などを総合的に評価します。